

ご使用前に必ずお読み下さい。

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱い下さいませますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に残し、必要に応じてご覧下さい。

W-687 取扱説明書

- 時間精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）
（電波時計による時刻修正を行わない場合）
- 表示精度：±1秒以内（電波受信による時刻修正の直後）
- 温度表示範囲：親機 -10℃～+50℃
子機 -20℃～+50℃
- 湿度表示範囲：親機 ±2℃（-10℃～+50℃の範囲内）
子機 ±2℃（-20℃～+50℃の範囲内）
- 湿度表示範囲：親機/子機 20%～95%
- 湿度精度：±5%（常温時、30～80%の範囲内）
- 使用温度範囲：-10℃～+50℃
- 使用推奨電池：親機 単2形アルカリ乾電池(LR14 1.5V) 2個
子機 単3形アルカリ乾電池(LR6 1.5V) 2個
- ※充電式電池・リチウム電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。
- ※アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。
- 電池寿命：親機 約12ヶ月（単2形アルカリ乾電池2個使用の場合）
子機 約12ヶ月（単3形アルカリ乾電池2個使用の場合）
- ※使い過ぎた電池を使用した場合、保管状態によって乾電池に示されている「使用推奨期間」よりも電池寿命が短くなる場合があります。
- 受信電波：標準電波J1J、周波数：40kHz/60kHz（自動選周）
- 自動受信回数：最多5回/1日
- カレンダー：2016年1月1日～2099年12月31日（フルオート）
- 防滴仕様（子機）：IPX2相当
- 電池交換お知らせ表示
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して表示が見えにくくなる場合があります。●0℃～+40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる責任・損害・その他の損失に対しては責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

保証書
GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。

尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	W-687
保証期間	この保証書は、複製のため、ご利用できません。
お買上げ日	

販売店

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。本保証書は日本国内のみ有効です。
(This guarantee is valid only in Japan.)

発売元 ノア精密株式会社
本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 ユーハイツ仲光3階

W687-1608-rev

注意と警告 安全にご使用いただくために 下記の注意事項を必ず守って下さい。

- 使用上の注意**
- 禁止 ●分解・改造をしないで下さい。
 - 強いショックを与えないで下さい。
 - 次のような場所での使用・保管は、しないで下さい。●温度が-10℃以下、または+50℃以上になる場所●浴室など、湿度の高い場所●直射日光などの強い紫外線が当たる場所●強い磁気のある場所●振動の激しい場所、不安定な場所●工場、台所など、油分の多く発生する場所●温泉場など、ガスの発生する場所●温風機などの乾燥した風が当たる場所●塵や埃の多い場所●ゴムやビニール系素材に長い間直接触れさせておくこと、色移りや付着・変質をする場合があります。●梱包用袋は絶対にかぶらないで下さい。

電池について

- 禁止 ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。●モニター用電池が付属している場合、付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。●+と-を逆にしないで下さい。●電池に直接ハンダ付けしないで下さい。
- 注意 ●警告 ●寿命の切れた電池はすぐに電池ホルダからはずして下さい。●長期間機器を使用しない場合は機器から電池をはずして下さい。●電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合はケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は医師に相談して下さい。●電池ホルダが機能別に分かれて2個以上の電池を使用する場合は、違う種類の電池(アルカリとマンガン等)や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないで下さい。電池を廃棄、または保存する場合はテープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。●廃棄の際は各自自治体の指定に従って下さい。

保証・アフターサービスについて

- 付属の電池は保証の対象外です。
- 保証の内容については左記保証書をご覧ください。
- 尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
 - ◆本保証書の提示がない場合
 - ◆本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合
 - ◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
 - ◆改造または分解により生じた故障・損傷
 - ◆火災や天災地変による故障・損傷
 - ◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化、損傷
- 保証期間中・期間経過後とも、修理品はお客がお買上げ店にお持参いただけます。修理を依頼される場合はお買上げ店にご持参下さい。
- 修理品をお持込み・ご送付される場合の運賃、諸掛り費用はお客様に各自負担願います。
- 修理・調整にあたっては、部品・付属品などについては、一部代替部品を使用させていただくことがあります。
- 本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましては不明な点がございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(型番)をご確認の上、ノア精密サービスセンターにお問い合わせ下さい。(製品番号：W-687)

ノア精密株式会社 サービスセンター
〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-4-6-1
TEL:048-933-4080
http://www.mag-clock.co.jp

受付時間：月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
10:00～12:00, 13:00～17:00
※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承下さい。

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。電波を受信できない場合は、内蔵クォーツ精度で計時をします。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、2015年4月現在、情報通信研究機構の計時によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所があり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



●標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。
情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jij.nict.go.jp>

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が+40℃以上になると液晶表示が黒くなり、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示面には触れないで下さい。表示が見えにくくなる場合があります。しばらくすると、元に戻ります。

温度・湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度・湿度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間が掛かる場合があります。
- 他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、ご注意ください。

お手入れについて

- プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラダきして下さい。
- ベンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。日本の標準電波送信所から1,000km以上離れた場所でも、ご使用になる場所の条件により、日本の標準電波を受信して、日本時刻を表示する場合があります。

使用場所について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。

- ◆鉄筋、鉄骨の建物の中や地下(ただし、窓際は比較的受信しやすくなります)
- ◆山、ビルなどの電波をささげるものの近く
- ◆高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
- ◆自動車、電車、飛行機などの中(特に移動中は電波障害が起きやすくなります)
- ◆空港、交通量の多い道路の近く工事現場など電波障害の起きる場所
- ◆テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明
- ◆金属面(床や壁)に接して設置した場合

※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

電池交換時期とリセット操作について

■電池交換時期
親機/子機共に電池容量が不足してくると、液晶表示が薄くなったり、アラーム音が小さくなったり、歪んだりします。また電池容量が少なくなると、電池交換お知らせ表示 が点灯します。このような場合は、速やかに新しい乾電池に2個同時に交換して下さい。

■リセット操作
電池を電池ホルダからはずした直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れたおした場合は、必ずリセット操作を実行して下さい。

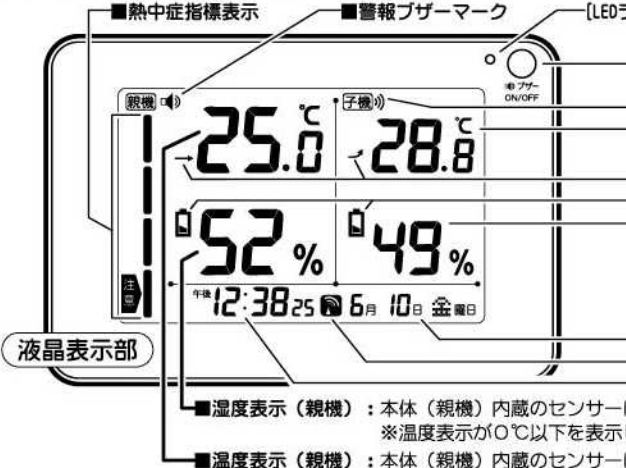
[親機リセット方法]:設定ボタンと高/低ボタンの同時押し
※本取扱説明書の[各部の名称(親機)]を参照して下さい。

[子機リセット方法]:電池ボックス内のリセットボタンを押す
※本取扱説明書の[各部の名称(子機)]を参照して下さい。

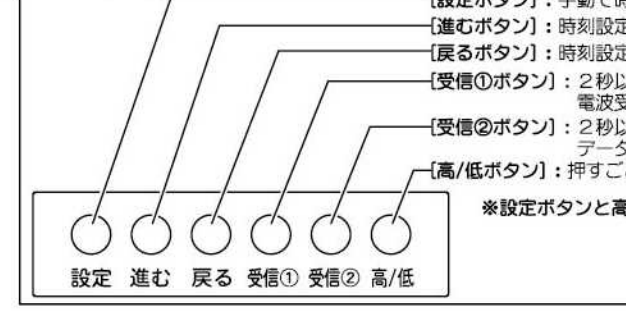
その他

電波障害などにより、誤った信号を受信することがあります。表示・時刻がおかしい場合は、リセット操作を実行し、改めて受信をさせて下さい。

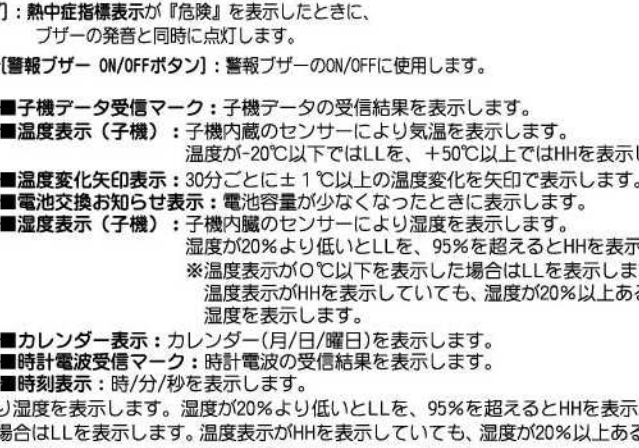
① 各部の名称 (親機)



操作部拡大図



② 各部の名称 (子機)



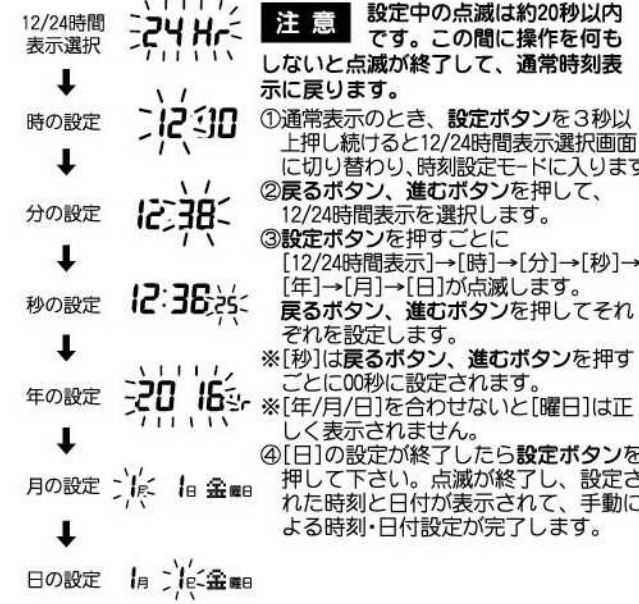
子機の設置場所について

- 子機は必ず親機から30m以内(見通し空間距離)に設置して下さい。
- ※「見通し空間距離」とは、親機と子機の間壁などの遮蔽物が無い状態を指します。遮蔽物によっては通信機能が低下する可能性があります。
- ※電池の電圧に比例し、電波の到達距離が変わります。
- ※受信可能範囲に送信機がある場合、誤受信をする場合があります。その場合は一度送信機から離し、リセット操作を掛け、様子を見てください。
- 設置場所
子機は防滴構造(IPX2相当)ですが、子機底面の通気孔より水が浸入する場合がありますので、必ず通気孔が下に来るように設置して下さい。外に設置する場合は、軒下等の直接雨や雪の当たらない場所に設置して下さい。また直射日光の当たらない場所に設置して下さい。
- ※子機を屋外で使用した場合、設置環境により外装が変色する場合があります。

子機からの温度湿度データ受信ができなかった場合は・・・

設置場所を変えて、手動でデータ受信をして下さい。本取扱説明書の「子機温度・湿度データ自動受信機能」を参照して、本体の向きや置き場所を変えて、手動受信をして下さい。

手動設定 (手動による時刻・日付設定方法)



W687-1608-rev

③ 本製品の使い方(お使い始め)

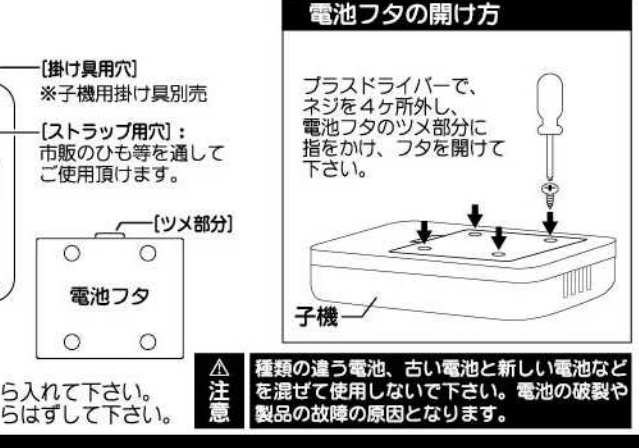
自動設定 (電波受信による時刻・日付設定方法)

- ①[親機]単2形乾電池2個を電池ホルダの十一の表示に合わせてセットして下さい。液晶面が表示され、「ビ・ビ・ビ・ビ」と確認音が鳴り、子機からの温度・湿度データを受信を開始します。
- ②[子機]単3形乾電池2個を電池ホルダの十一の表示に合わせて任意の場所に設置して下さい。
- 子機の電池は、親機に電池を入れてから3分以内にしてください。
- 子機データの受信中は、子機データ受信マークが点滅します。
- 子機データの受信には、最長1分かかります。
- 子機データの受信に成功すると、子機データ受信マークが点灯し子機を設置した場所の温度・湿度を表示します。
- 子機データの受信に失敗すると、子機データ受信マークは消灯し温度・湿度共に「-」を表示します。
- ③子機からの温度・湿度データの受信後、時計電波の受信を開始します。
- 時計電波受信中は時計電波受信マークが点滅します。
- 時計電波受信には最長20分かかります。
- ④時計電波受信の結果を確認して下さい。
- 受信に成功すると、時計電波受信マークが点灯し自動的に時刻と日付を修正して表示します。
- 受信に失敗すると、時計電波受信マークは消灯します。時刻・日付は修正されません。

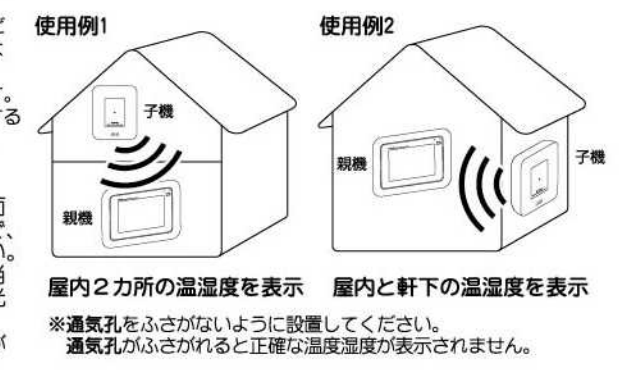
④ その他の機能

- 時計電波受信機能
 - 時計電波自動受信
時計電波受信が終了(受信マークが点灯、または消灯しているとき受信①ボタンを2秒以上押しすると、受信を開始します。受信電波中に受信①ボタンを2秒以上押しすると、受信を終了します。
 - 自動受信
自動受信は1日に最多5回行われます。(1時00分、2時00分、3時00分、4時00分、5時00分)1時00分の受信に成功すると、次の日の1時00分まで受信はしません。1時00分の受信に失敗すると2時00分に、更に失敗すると3時00分、4時00分、5時00分というように、受信に成功するまで5回受信を繰り返します。
- 受信の状態について (受信マークの表示例)
 - 点滅中 ■受信中(電波を探している状態)です。
 - 点灯 ■受信に成功して時刻/日付修正を終了しています。●次の受信開始まで点灯し続けます。
 - 消灯 ■受信に失敗して終了しています。●次の受信開始(点滅)まで、表示されません。
- 子機温度・湿度データ受信機能
 - 子機温度・湿度データ自動受信
子機データの受信が終了(子機データ受信マークが点灯、または消灯しているとき受信②ボタンを2秒以上押しすると、子機データの受信を開始します。受信電波中に受信②ボタンを2秒以上押しすると、受信を終了します。
- 温度変化矢印表示について
 - 子機/親機ともに温度の変化を矢印で表示します。●数値は30分毎に更新され、±1℃以上の変化があれば、「↑」もしくは「↓」のいずれかを表示し、±1℃未満であれば「→」を表示します。

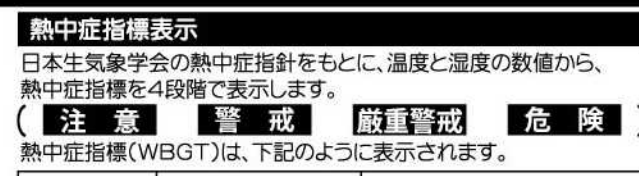
電池フタの開け方



使用例1



使用例2



熱中症指標表示

日本気象学会の熱中症指標をもとに、温度と湿度の数値から、熱中症指標を4段階で表示します。
(注意 警戒 嚴重警戒 危険)
熱中症指標(WBGT)は、下記のように表示されます。

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。	
警戒	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。
注意	強い生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的な休憩は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

出展:日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3J」(2013)

警報プザーについて

■警報プザーを鳴らす
熱中症指標表示が「危険」を表示すると、「ビ・ビ・ビ・ビ、ビ・ビ・ビ・ビ」と鳴り、同時にLEDランプが点滅します。2秒後、「危険」が表示しているまままだ場合、再度3秒間警報プザーが鳴ります。●警報プザーを鳴らさない/LEDランプを点滅させない場合は、警報プザー ON/OFFボタンを押して、警報プザーマークを消灯して下さい。
- 子機データの受信中または時計電波の受信中は、警報プザーのON/OFF切替操作はできません。

W687-1608-rev